

京都府RU高校1年生236名が高島市の宿泊施設にお泊りになり、地域貢献活動：登山道・林道の整備を実施。高島市民ボランティアの指導で、18班に分かれて実施。湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部も1グループ担当させていただきました。少し慣れてくると「面白い・・・」と言って楽しんで作業をしてくださいました。担当の先生も作業をされ、「楽しいでしょう・・・」とお聞きすると「私はこちらの方がしたい・・・でも今日は、付き添いなので・・・」と。作業が終わり引き返す時、「わぁー・・・綺麗になった・・・」とみなさん談笑。お疲れさまでした。ぜひ、高島市へ再来ください。今日も自然に感謝。出会いに感謝でした。

◆活動の様子



ようこそ



班に分かれて (生徒15名 指導者2名)



作業①



作業②



作業③



お疲れさま

(学校への事前メッセージ)

環境

近畿 117 市町村、約 1,450 万人に水を供給している、母なる湖「琵琶湖」。日本最大の湖である琵琶湖は、滋賀県の面積の6分の1を占め、流れ出る水は瀬田川・宇治川・淀川と名前を変えて、大阪湾（瀬戸内海）へ至る。

この湖の水量の約38パーセントを供給するとされる高島市は、関西に対する貢献度が非常に高いものと考えられる。水質向上が語られる中、水源地である高島市の森林管理整備は、大変重要な課題となる。

目的

登山道や林道を整備することにより、人が入りやすい環境を整えることで以下の効果を期待する。

- ① 整備活動の効率化につなげる
- ② 登山客や自然散策を安全に、楽しく行える環境を整えることで、観光誘客の向上に繋げる。
- ③ あらゆる業界の関わりを生むことで、琵琶湖や水源環境への関心を高め、保全活動の維持継続、活発化に繋げる。